



# はなみずき

学校教育目標

「なぜだろう」  
「これでよいのか」  
「さあやるぞ」

## “あいさつ”をとおして

校長 関根 祐一

記録的に短い梅雨であったようです。梅雨明けと同時に猛暑がやってきました。学校でも熱中症の予防を最優先し、外での活動などでは適切にマスクを外して過ごせるよう声かけを行っているところですが（暑さ指数WBGTが31°以上となった場合には校庭での活動は中止しています）。

プールには元気に水泳の学習に励む子供たちの姿があり、笑顔に満ちた北フェスタの思い出もできました。これからは1学期のまとめに取り組んでまいります。今週実施しております授業参観・懇談会では、厳しい暑さの中ご来校いただきまして誠にありがとうございます。授業参観では、まとめを迎えるこの時期の子供たちの学習の様子をご覧いただき、懇談会では、4月からを振り返るとともに、より良いまとめと夏休みに向け共通理解を更に深めることができればと思っております。

さて、私の一日はほぼ毎日、学校の通学路を歩き「おはようございます。」と登校してくる子供たちとあいさつすることから始まります。この朝の時間は、私にとってとても大事な時間であり、うれしい時間です。“あいさつ”は、言葉の由来からすると『お互いの心を開いて、相手の心に近づいていく』

という意味になるそうです。

あいさつをかけるのと、たくさんの子から、元気なあいさつや優しく穏やかなあいさつが返ってきます。とてもうれしいです。一方、日によっては、「あれっ、今日は元気な声が少ないかな…」と感じることもあります。でも、それはそれです。時には、体調が万全ではない日や、気持ちが重たい日だってあるでしょう。明るいあいさつの中には「元気だね。よかった。今日もいい日にしたいね。」という思いを送り、元気がもう一つかなと感じる表情には「何かあったのかな？ 今日何かあるのかな？ 今日そして明日をいい日にしたいね。」という思いを送っています。

また、私が「おはようございます。」の声をかける前に、先にあいさつをくれる子や、あいさつを交わす際に、視線を合わせてとても明るくにこやかに「おはようございます。」の言葉をくれる子がいます。そんなときには、私の方が、元気をもらえて、一日の活力が更に充電されていくことを感じるのです。

「気持ちが通じますように」そんな思いをもちながら、明日も明後日も、これからも、あいさつをしていきます。

